

人ごと（鹿ごと？）だと思って知らない人が多いかもしれませんが、実はトナカイは12月になるとツノが抜け落ちてしまうんですよ。ポロポロポロ、辺り一面ツノだらけ。あ、でもコレはオスだけの話。メスは冬を迎えてもちゃんとツノがあるんです。確かにオスよりはちょっと小ぶりだけど。

サンタさんのソリをひくトナカイにはみんなツノがあるでしょ？つまりあれはみんな女の子なんですよ。

トナカイの世界にもそれなりの『シキタリ』ってのがあつてあります。

サンタさんのソリひくなんてのはトナカイの女の子に生まれてから一度は夢見ることなんですよ。

だからといって誰もがなれるわけじゃなくって、定員ってのが決まってるんです。

昔からソリをひくのは8頭。しかも名前も決まってる『ダッシャー』『ダンサー』『プランサー』『ヴィクセン』『コメット』『キューピッド』『ドンダー』『ブリッツ』この8つ。

毎年、秋の終わり、初雪を近くに感じた頃にサンタさんがオーディションにやってくるんです。

1次審査、2次審査、3次審査を経て、最後に今年の8頭が決まる。これが大体12月上旬くらい。

で、その8頭には例の8つの名前が割り振られる。つまり襲名制。歌舞伎みたいなものかしら。

名前を貰ったらそこから1ヶ月は合宿が始まるんです。重いソリをひくために筋トレしたり、8頭が足並みを揃えるトレーニングしたり。なんだかモーニング娘。みたいでしょ？

8頭仲良くわきあいあい………というわけにはいかないんです。8頭いてもそりを引くときは4頭ずつの2列になっちゃうわけで、そうなるみんな先頭が欲しいとなる。もう、お互い妬み合いの蹴落とし合い。モー娘というよりは大奥の世界。

なんでアタシがそんな大奥の世界に紛れ込んだらあつたんだろう。

アタシの貰った名前は『ブリッツ』。奇しくもアタシのお母さんがソリを引いたときと同じ名前でした。

お母さんはサンタさんに凄く気に入られてたっていうから、アタシは多分お母さんの七光りってやつで大奥入りしたのかなあ。だってそれしか考えられないですもの。

周りのトナカイは毛並みは綺麗だし、容姿も端麗だし、他の子より頭1つ、ツノ3つ分くらい抜け出してるもの。

それに比べてアタシはお母さんとは似ても似つかない酷い姿。

毛並みはクセっ毛だし、ツノだってお飾り程度だし、それに何よりアタシが嫌いなのはこの鼻。

トナカイだっのにいつも空を見上げた鼻。正面から見ると鼻の穴が2つ激しい自己主張をしてて、しかも肌が弱いから霜焼けでピンク色に染まってて。つまるところ、世に言う『ブタっ鼻』てやつです。

そのせいなのか何なのか、鳴き声まで変みたいで、どうも人間には『ブイッ！ブイッ！！』って聴こえるんですって。

こんなアタシが大奥にいて役立つこと。それはみんなの笑いものになるくらい。だってほら、アタシをからかっているときは他の7頭はすごく楽しそうに団結してたりして。……はあ。

で、事件が起きたのは12月も半ばを過ぎた頃でした。

サンタさんがヘルニアを悪くして倒れちゃったんです。でも一年に一度の大仕事だし、休むわけにもいかないって言うんで、今年だけ息子さんがピンチヒッターでサンタをやることになったんです。

この息子さん、どうも人間界にいるときは『吉祥寺ヴァイオレット』っていう団体のリーダーさんをしてたらしくて、統率力はあるみたい。

ただファッションが独特で、お馴染みのあの衣装の丈をもの凄く長くしたり、ズボンの先がラップみたいに広がってたり、背中には『三太参上夜露死苦』っていう難しい刺繍がしてある。

アタシが息子さんと初めて話したのはイヴを翌日に控えた23日の昼。

明日が仕事だからって、息子さん張り切ってソリに飾りツケをしてるんですよ。見たこともない金属をあちこちにべたべたべた。で、ぼそぼそと『よっしゃ、明日はコイツでドリフトかましたる。ドリドリドリや。空ならマップも追ってこれへんやろざまあみろ。あと足りんのは……鳴り物やな』

ドリなんとかやらマップやら、分からない言葉だらけだったのでアタシ聞いたんです。『それってどういう意味なんですか？』いくら聞いたって人間には言葉は通じないのに。

でも息子さん違ったんです。アタシの言葉をきくと、アタシの方を見て、アタシの名札を見て、『おう、お前ブリッツ言うんか？ええなあお前』その後も『そうか、せやな、それでええんや、そしよ、そないしよ』ってボソボソボソ。

そして迎えた24日。

大奥はこれ以上なくピリピリしてました。誰がソリの先頭を引くのか？確率は2/8。

7頭の中でも一番立派なツノを持ってて、容姿も毛並みもダントツだった『コメント』はきっと当確だろう。そうなるに残るは1/7……じゃなくて1/6。だって『ブリッツ』は選ばれるはずない。それはみんなもアタシも思ってたから。

日が暮れる頃になって息子さんが刺繍入りの真っ赤な衣装を着てやってきました。手にはもちろん大きな袋。中には沢山のプレゼント。

8頭が並び順をこんなに気にしてる事なんて全く意に關せずという様子でソリに息子さんが8頭をソリの結んでいきます。

最初に、つまり最後方に結ばれたのは『キューピッド』と『ドンダー』。そりゃ人間には分からないかもしれないですが、2頭は物凄く不満そうな残念そうな顔で息子さんを見てました。でもそれも気にせずに息子さんは手を休めない。次に結ばれたのが『ダッシャー』『ダンサー』。さて、残るは4頭。次の2頭を選ばなければ先頭が決まるわけです。

アタシが先頭に来るなんてのは考えられないわけで、アタシは自分から鼻先を息子さんに近づけると、『だぁ、アホ汚い鼻近づけるな、あっち行ってろ』そう言って『ブランサー』と『ヴィクセン』をソリにギュギュ。

アタシと7頭があっけにとられてると息子さんがアタシに近づいて『おいブリッツ、お前なんか言ってみろ』アタシは『アタシ……先頭ですか』確かめるように言うと、息子さん『よし！それでいい！！そのブイブイがいい！！お前あれだぞ、俺が鳴けって言ったら鼻が張り裂けるくらいに大声で鳴けよ、今夜はイブの街をブイブイ言わしたる！！』

もし今夜空から『ブイブイ』が聴こえたらそれはきっとアタシです。それじゃ行ってきますね。

【終】

※2004年12月23日発表

※ご利用上の注意※

- ・本作はどなたでも無料にてご利用いただけます。
- ・本作をご利用頂く際は必ず作者（gumba1227@hotmail.com）までご一報頂けますようお願い致します。
- ・但し、練習での使用などの場合はご連絡の必要はございません。
- ・連絡が必要かどうかの基準は以下の通りでございます。

※連絡不要の場合

- ・仲間内で集まっての練習でのご利用。
- ・Skypeなどを介しての第三者の聴取・視聴が出来ない形でのご利用。

※連絡が必要となる場合

- ・各種配信サービスによる配信・生配信など第三者の聴取・視聴が可能な状況下でのご利用。
- ・連絡を要する形でのご利用の際は、必ず作品名・作者名をご記載いただけますようお願い致します。

その他ご不明な点ございましたらお気軽に下記までご連絡下さい。

gumba1227@hotmail.com (岩本)